

Chuo Vision 2025 (計画期間：2016～2025年度)

後半5年間(2021～2025年度) [第2期] の計画内容

清野 強

中長期事業計画の見直しに当たって

第1版からの変更と策定方針

◎見直しの背景

▽本学を取り巻く環境の背景

- ・東京23区(特定地域)内にある大学の定員増を原則10年間認めない(2018年)
- ・私立学校法改正(2020年4月) → 中期計画の作成義務化

▽新学部設置、キャンパス整備等各計画の進捗

- ・国際経営学部、国際情報学部創設(2019年)

▽進捗に伴う計画変更の発生

- ・(仮称)茗荷谷キャンパス、駿河台キャンパス整備

◎第2版(第2期)の策定方針

▽当初定めたMission(使命)、Vision(将来構想)の継承

▽第1期の進捗を踏まえた見直し

- ・追加すべき目標・施策の追加
- ・既存計画のアクションプラン・数値目標の修正

▽私立大学ガバナンス・コードに留意

- ・私学法改正に伴い、「日本私立大学連盟私立大学ガバナンス・コード」が制定され、ガバナンス機能向上のために、中長期事業計画等の策定が“重要な位置づけを持つ”と示された。見直しに当たっては、直近の認証評価や、自己点検評価活動の改善事項、ガバナンス・コードに留意することとしている。 ⇒2面に続く



茗荷谷新キャンパス外観(イメージ) 中央大学広報室提供

○法学部の都心展開

(2023年3月竣工予定)

最寄駅：地下鉄茗荷谷駅

○駿河台記念館の建て替え

(2023年3月竣工予定)

ロースクールとビジネススクールを移転

全学的利用に供する



FOREST GATEWAY CHUO 外観 中央大学広報室提供



◎学部共通棟(多摩キャンパス) 2021年3月完成 ※名称(公募)が「FOREST GATEWAY CHUO」に決定！ 学部横断的な教育研究施設となる

1：激しい環境変化のもとでの 本学の姿勢と役割

◎社会の変化

▽Society5.0

- ・先進技術（IoT、AI 等）の発展
- ・ボーダレス化、グローバル化の加速

▽DX（デジタルトランスフォーメーション）の潮流

- ・情報化時代の人材育成が急務

▽持続可能なグローバル目標 SDG s

▽新しい生活様式

- ・感染防止と社会活動の両立

◎大学の役割

University 1.0 → University 2.0

(中近世イタリア) (ドイツモデル)

→ University 3.0 → University 4.0

(アメリカモデル)

- ・本学の取組みは 3.0 の途上
- ・大学院制度の設立、**社会貢献型**の大学へ（アメリカモデル）

◎第2期の姿勢

「中央大学ダイバシティ宣言」を第2版の基本理念とし、第2期では SDG s などのグローバルスタンダードに即した事業計画の展開と社会貢献を果たしていく。

2：新型コロナウイルス感染症対策 / 大学の機能の維持・強化

- ・コロナ禍により、デジタルトランスフォーメーション（DX）が飛躍的に身近なものとなった。
- ・オンラインを活用した教育研究手法が充実する一方で、リアル・対面の重要性も改めて認識されている。

◎With コロナ/After コロナの課題への対応

▽オンライン活用、オンライン教育の質保証

▽ICT 情報環境整備

▽教室定員や施設利用のあり方

▽正課を含めた学外活動支援

▽リモートワークなどの働き方改革

▽学生への経済的支援等

◎DX を念頭とした教育開発・研究支援・国際交流と体制整備

▽「オンライン」「リアル」の双方を活用

▽外的変化に耐えうるソフト・ハードの環境整備

▽（学生）：安心して学びに取り組める環境

▽（教職員）：安全な教育研究活動・業務執行が可能な環境

3：長期的視点に基づく

第2期の方向性

18 歳人口が減少する中においても、教育研究組織の再編・新設により、**学問分野の多様性**を確保し、学修する人の**選択肢を増やす**こと、社会に対して学問内容を明確に示し、多くの人に**選ばれる大学**になることを追求する。

◎学部・大学院研究科における教育研究組織の再編・新設

▽学問分野の多様性を確保

▽学びと研鑽を求める人々への選択肢の提供

▽社会に対する学問内容の訴求性を明確化

▽多方面からの多くの人々に選ばれる大学へ

◎多様な学びのニーズに応える体制の構築

▽大学院の充実による**リカレント教育**

▽産学官連携による各種センターの活動

- ・AI・データサイエンスセンター等

▽教育研究の機能強化、成果の社会還元

◎教育研究組織、財務基盤・事務組織を更に強固に

▽外部環境の変化に耐えられる準備

- ・大学入学共通テストの導入やオンライン授業の普及

- ・大学独自の取組み、教育の質保証への注目

▽長期的視点での**大規模施設改修**への準備（多摩/後樂園）

◆2023 年の法学部（法学研究科、専門職大学院含む）と関連する教育研究組織の**移転**は、多摩移転以来の大事業

◆移転に伴う**支援体制、運営に関する政策**を定めるには、Chuo Vision 2025 第1版からの**構造的な課題**への対応が必要

4：事業計画の実施基盤の強化

▽法学部等の移転に伴う**教育研究支援体制**をはじめとした**運営政策**

- ・多摩：収容定員政策、地域共生

- ・都心：産学官連携による社会協創、社会人教育

▽構造的な課題への対応

- ・学生視点での教育研究支援のための組織再編

- ・事業計画遂行可能な組織や予算単位制度の全体最適といった経営課題

5：大学ガバナンスの強化

▽私立学校法の改正（前述）

▽「日本私立大学連盟私立大学ガバナンス・コード」（前述）

- ・中長期計画の体制

策定管理主体 ➡ 理事会（策定管理者：理事長）

執行管理主体 ➡ 総合戦略推進会議（執行責任者：学長）
⇒ 3 面に続く

⇒ 2面から続く

▽構成員への共有と情報公開

・中長期計画の内容、進捗管理方法について、構

成員に十分説明し、計画の進捗状況実施結果を学内外に公表する

▽教学マネジメントの充実

・副学長制度、学長補佐制度の制定

■ 新時代を切り拓く人材の養成

中央大学はIT化とグローバル化が急速な少子高齢化がともに進行するわが国の社会において、ユニバーサル化と多様な価値観への対応を進めながら、研究・教育の本来的役割をしっかりと果たし、未来の社会を築き支える有為の人材を養成する。そして、さまざまな社会連携を深め、SDGsを共有して持続可能な社会の構築に貢献し、「時代とともに社会とともに、愛され存在感のある中央大学」の新たな伝統を築き、新時代に相応しい大学(University3.0)のあり方を追求して行きます。(清野 強)

◇AI・データサイエンスセンターを設立

—「人間中心のAI社会」を創る人材を育成—

2020年4月、後樂園キャンパスに設立しました。

(1) 全学的リテラシー教育

理系・文系を問わず情報社会に必須の全学向けのリテラシー教育を企画・立案し、実施する。

(2) 社会との協創的研究

産業界等とAIやデータサイエンスを活用した共同研究を行う。

(3) 社会連携・連携事業

AIやデータサイエンス領域でリカレント教育を含む社会貢献・連携事業を行う。

以上3つのミッションを柱として、総合大学の強みを生かして、AI技術を駆使してデータに基づき合理的な意志決定ができる人材を育成していく。

◇理工学部 ビジネスデータサイエンス学科

経営システム工学科は、2021年4月にビジネスデータサイエンス学科へ名称変更。

◇ダイバーシティセンターを設立

2020年4月、多摩キャンパスにダイバーシティセンターを設立しました。

「中央大学ダイバーシティ宣言」に基づき、「学びたいという希望を持つすべての人々が差別なく集い、のびのびと学ぶことのできる学修環境」を作るため、困りごとや障害に直面している学生等に対

して、学内関係部署や学外の資源と連携して適切な調整を図ることを任務としています。

センターでは当面の間、①グローバル領域(国籍、人種)、②ジェンダー・セクシュアリティ領域(性別、性自認、性的指向)、③障害領域(身体障害、内部障害、難病等)についての相談、調整、環境整備を行う。

◇文学部「学びのパスポートプログラム」を新設

文学部は、2021年度4月より、「学びのパスポートプログラム」を新設します。本プログラムでは、文学部人文社会科学に設置されている13専攻の学問領域を自由に横断できることが特徴。また、入学時に「社会文化系」と「スポーツ文化系」のどちらかを選択して所属し、自らの関心に基づいたオリジナルのカリキュラムを作成し、学びをデザインしていきます。

◇山口県と中央大学との就職支援に関する協定締結

2020年2月、「山口県と中央大学との就職支援に関する協定」を締結しました。

本協定により山口県と中央大学が相互に連携・協力し、学生の就職活動を支援することにより、山口県へのUIターン就職の促進を図ることを目的としています。

この度の山口県とのUIターン就職支援協定は18道府県目となります。

わたしの
近況

◆ 山井 俊昭 (法)

栄区民生委員・児童委員2期目となりましたが、活動も自粛気味です。不動産協会の役員は4月の改選期を迎え辞退しました。ただ、昨年より自治会の理事を拝命し、ひたすらボランティア活動に励んでいます。仕事の方は生涯現役で、あっちこっちからの相談ごとに不動産コンサルティングマスター、ファ

イナンシャルプランナーとしてお応えしております。

「感謝と寛容」をモットーとしていつも笑顔で生きてます。(*^_^*) (横浜市)

◆ 山下 史雄 (政)

「お写んぼ」しながらインスタに投稿を続けています。歩くことで現役時代より健康数値は改善しました。(千葉市)

日本列島 自転車ひとり旅

その4

昨年コロナ禍の中、移動自粛ムードいっぱいでしたが、いつものように自転車旅行に出かけました。春は東北・盛岡近くまで、秋は北陸・富山までとフェリーでの移動は避けて自

東北行

宅からそのまま走り出しました。その時の東北旅行について書いてみます。

令和3年2月14日

(渡辺 健司)



景勝地・松島で宮城

昨年5月27～6月8日 埼玉⇒盛岡付近

放射能で福島の一部タクシー

「密」避けるためフェリー使わず

出かけたのは、第1回緊急事態宣言が解けてから5月27日。自宅白岡市から利根川土手サイクリングロードを下り、太平洋岸に出ました。そこからずっと北上して岩手県盛岡市近郊までです。

4日目 福島県勿来海水浴場 ここでキャンプした時、地元の女性から聞いた話。彼女の親戚の人が青森に車で仕事に出かけた。ナンバープレートを見た、かの地の人たちが新型コロナウイルスの感染を恐れ、県外者は出て行けとばかり車を傷つけたり、石を投げたりしたという。彼は長い滞在になりそうなので青森ナンバーに変えたそうだ。すごい話ですね。

7日目 福島県富岡町から浪江町までタクシーで移動。東日本大震災から9年たつのに、この辺はいまだに放射能で汚染されていて、歩行者、2輪車は通行できない。大津波の傷はこんなにも長く続くのですね。しかたがないので自転車をばらし、タクシーで通過した。6500円ほどかかり痛い出費だった。

8日目 宮城県名取市 自転車のパンクが頻発。1回目のパンクで後輪タイヤ側面が傷つき、その影響で何回もパンクを繰り返す。6回ほどパンク貼りして走っているとイオンモールに大きな自転車店がある。早速タイヤを買って交換。ホッとする。

⇒5面に続く

コロナ影響 観光地の客まばら

⇒4面から続く

10日目 宮城県登米市 気持ち良く北上川沿いを北上していた時のこと(シャレではありません)。軽トラック運転のお兄さんが私に頑張れと言って、ポカリスエットのPETボトルを助手席窓から差し出す。走りながら受け取ったが、荷物は多いしドロップハンドルなので片手走行はとても恐怖だった。幸い転倒は免れたので良かった。嬉しかったが怖かった。



胆沢城跡地=岩手

11日目 岩手県水沢市 埋蔵文化財調査センターを見学。ここは平安時代、西暦802年築城の胆沢城跡の近くにある。征夷大将軍坂上田村麻呂と蝦夷の首長あてのいりごの故事を知る。とても興味深い。北海道ではアイヌが和人に虐げられてきたこともあり、胸が痛む。

12日目 岩手県紫波町 同町役場の隣の公園でキャンプする。その時、役所職員から聞いた話。先日近くで葬式があったが、亡くなったおじいさんの東京在住の娘さんは出席できなかったとのこと。親戚の人たちが新型コロナウイルスの感染を恐れて、来るのを拒んだそう。

「親の葬儀に出られない」

町でも問題になっているという。親の葬式に出られないとは何ということか。このころ、岩手県ではまだ感染者ゼロであった。

13日目 荷物をたたむ。紫波中央駅で電車に乗り、北上駅で新幹線に乗り換え帰宅する。

この2週間の自転車旅行は天気にも恵まれ景勝地も楽しみましたが、なんだか考えることの多い旅でもありました。千葉県佐原や宮城県松島の観光地にも寄ってみたいけれど、ほとんど客がない状態だったことも、いつもの旅とはずいぶん違う印象でした。

「とっぴおき」のマスク

昨年末から新年にかけて腰痛治療のため病院に通っていた。そのための待合室のこと。

順番待ちの中に高齢の女性がいた。見るとマスクをしていない。時おり咳も。

嫌だなあ。非常識だなあ。そう思いつつも「何か言っては気まずくなる、次も顔を合わせるかもしれない」と思って黙っていた。他に数人の患者がいたが私と同様あえて口を開く者はいない。

するとその中の一人、高齢だががつしりした体形の男性がすくつと席を立って女性の方を向いた。

「ねえ、マスク持ってないの？」緊張が走った。

「……」

無言でうなづく女性。

「これあげるよ」

男性は自分のズボンのポケットからマスク1枚を取り出し差し出した。

「新しいやつだから。ここをこうしてね、そうそう」

親切に着け方まで伝授する男性。女性に笑みが浮かんだ。

「アベノマスクあるでしょう？」別の女性が声をかけた。

「アベノマスクはとってあるの」(周囲から小さな笑い声が)

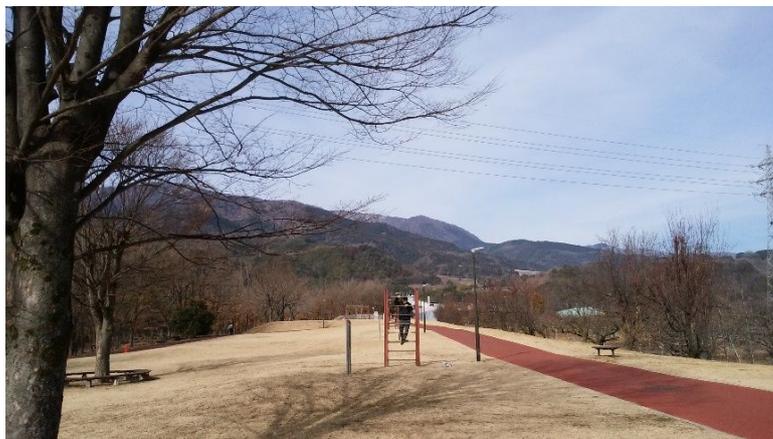
こうして場の雰囲気は和らいだ

が……。マスクさえ節約という人もいるのかな。そんなことを考えた。

(山下 史雄)

コロナに 負けるな

中込 誠



公園の運動遊具で汗かき免疫力アップ図る

コロナ禍の中、高齢で基礎疾患があるため不安な毎日を送っています。ワクチン、有効な治療薬に不安があります。現状では免疫力アップで予防するしかありません、そのため、栄養バランス、規則正しい生活、そして毎日ラジオ体操と息子の整体所の清掃と消毒をして朝の 8 時頃から近くの公園の運動遊具、平行棒、腹筋台、平均台、うんてい、垂直はしごなどして、1 時間ほど汗を流しています。公園は広々して、まわりはスモモの畑、小川などあり、南アルプスの山々、富士山も見える自然に恵まれ、太陽の光をいっぱい浴び心身とも心地よい時を過ごしています。仕事は感染が怖いのでしていませんが、コロナ収束後は再び福祉の仕事に戻るつもりです。

皆さんコロナに負けないようお互いに頑張りましょう！
(写真は垂直はしごで運動している私です、この時間帯はほぼ貸切状態です)

非接触体温計が便利、数値も電子体温計と変わらず

特別栽培米コシヒカリ認定農家をやりながら NPO 法人栃木県防災士会の理事として、県内の地区防災計画作成アドバイザーとして活動しています。

地区防災計画作成会議の際に、非接触体温計やアルコール消毒スプレーを会議室入口に置いて、コロナ感染防止対策を講じながら実施しています。

非接触体温計は、からだに触れることなく、瞬時に体温測定できる優れものです。

我が家でも、非接触体温計をドラッグストア (2500 円) で購入しました。毎朝、孫から祖母まで家族が非接触体温計をひたいにかざしてピーと鳴ってデジタル温度を 37.5 度以下であることを確認して、コロナに感染していない目安にしています。

非接触体温計と、これまで使っていた電子体温計の体温表示の誤差について確かめたところ、どちらの体温計も同様の数値を示しました。

コロナ感染拡大防止の体温測定には、からだに触れないで瞬時に測定できる非接触体温計を使うことに自信をもちました。

関東地方では、首都圏 4 都県に栃木県が追加され 1 月 14 日から 2 月 7 日まで緊急事態宣言となりました。

コロナ感染拡大は、人災的であり、各人が不要不急の外出や会食の自粛やマスク着用のほか、感染目安とされている体温を確認することにより、収束にむかうことができると思います。

感染の目安に “新兵器”活躍

黒須 敏文



▲ 非接触式の体温計

古希

山井 俊昭

私もこの正月で古希になりました。数え年で70歳です。「門松は冥途の道への一里塚」正月を迎えるたびに、この道でよかったのかどうか、この先もこの道を行けばいいのか、迷っている時間も無くなってしまいました。一里塚、あといかほど残っていることやら。

さて2021年の一里塚にいて、少し自分の過去を見つめなおしてみようと思います。

2020年から今年にかけて新型コロナウイルス禍ですべての面で委縮を余儀なくされています。私の大好きな、忘年会も新年会も役員会さえも開けない状態です。それどころか50会でもメインイベントである箱根駅伝も沿道応援も自粛するようにと、徹底的に密を避けるよう要請され、応援旗も振れず、自宅のテレビ前で静かに応援するしかありませんでした。何年ぶりに自宅で正月2日を過ごせました。

今年の中大は予選会は2位で通過しました。1年生吉居君を迎え大いに期待しましたが、本戦では12位と、去年と同じ成績に終わりました。少しの番狂わせも起こせず残念でした。往路の19位という成績が復路3位だったことを考えると、選手層の厚みがまだまだ必要ということでしょうか。持ちタイムの良い1年生が期待通り走れなかったことは過去にも何度もありました。やはり中心でチームを引っ張ってくれるのは3年生だと思います。それに基礎体力をつけた2年生が力を出せば十分優勝戦線に参加できることでしょう。

5区山登りは大事です。優勝校を見ると、5区での走りがずば抜けているようです。山登りは専門職であり、通常の練習メニューだと育た

コロナ時代に迎えた「一里塚」

駅伝応援できず残念

山登りチームを鍛えれば…

ないでしょう。山登り強化専門メニューを用意し、数人の選手を2年間、ばっちり鍛え上げる必要があるでしょう。山登りを制すればおのずと総合成績も10位以内のシード権に届くだろうと思います。来年に期待しましょう。私事ながら満70になった記念にシード権を獲得してくれないだろうか。

ところで、昭和26年生まれの私は、故郷の下関でコレラや赤痢の流行を、小学校の時に経験しています。今でいうパンデミック状態というのでしょうか、町内会での消毒騒ぎ、感染した人のうわさや情報で疑心暗鬼に包まれた世間を、小さいなりに経験しました。コレラや赤痢がそんなに怖いと思わなかったような気がします。コレラや赤痢は、下痢発熱など症状が明らかで感染者が見た目でわかるので、診断も手早く、すぐに隔離できました。ところがこのコロナは、見た目で感染が分からず、無症状でウィルスをばらまく危険性があり、くらべものにならないくらい怖いです。見えないものほど怖いものはないのです。PCR検査して陽性になった人も、見た目で区別がつかいませんから、確かに怖いです。自分と家族のために「不要・不急の外出」は避け、感染対策をしっかりとって過ごしましょう。今回の非常事態宣言下では、昨年4月の時ほどの効果はなさそうです。7月のオリンピックはまず開催できないでしょう。3月に始まる国内の聖火リレースタートまでに、やるかやらないか決断しなければなりません。政府として早々と止める決断をした方がよろしいのではないのでしょうか。

古希にCOVID-19パンデミック、そんな看板を私の一里塚に刻まれるとは。なかなか悠々自適な旅は続けられないようです。せめて大好きなプロ野球や相撲、大学野球はできますように。早く皆さんとワイワイガヤガヤ飲み会をやりたいと願っている今日この頃です。

皆様どうぞご自愛されてください。本年もどうぞよろしくお祈りします。私も次の一里塚までのんびりと歩いて向かいます。

横浜税関と筆者



元税関勤務 櫻井 和仁



横浜税関と神奈川県庁



ワールドポーターズ

コロナ禍大きく減った通勤

「古巣」の横浜港散歩で健康保持



赤レンガ倉庫

昨年早春から新型コロナウイルスの感染が世界的パンデミックとなり、私達の生活スタイルは一変した。3年前から東京駅近くの物流会社にて週3日ほどパートで働いているが、昨年4月以降テレワークが原則となり会社に出勤するのは月1回多くても2回程度。通勤はある意味良い運動であったが今は体を動かす機会が減ってしまった。そこで健康保持のため週3～4回を目途に横浜港の赤レンガ倉庫や横浜税関庁舎辺りまで散歩している。ぐるり回って約1万歩（距離6.5Km前後）になる。

横浜港には私が42年間勤務した税関の関連施設も多い。高校3年の秋、公務員試験に合格し勤務先をどこにしようか迷っていた時「税関」に来ないかと横浜税関の人事課長補佐に声をかけられ、大学に行きたかった私は、税関には夜学に通っている先輩も多いと説得され就職を決めた。50年も前の話である。

散歩コースに話を戻すと、まず自宅マンションを出て横浜の戦後復興期を代表する繁華街「伊勢佐木町通り」を7丁目から1丁目、更に「馬車道通り」を直進すれば30分程で横浜港の新港地区に着く。昭和の時代この辺は輸出入貨物で溢れていたが、その後輸送貨物のコンテナ化が進展し、コンテナ船専用バースが本牧ふ頭や大黒ふ頭に整備されると倉庫は移転。跡地はワールドポーターズ、赤レンガ倉庫などの観光施設となり多くの行楽客が訪れている。

赤レンガ倉庫近くから陸側を見ると、モスク風屋根の塔を持つ横浜税関庁舎、その左手には神奈川県庁の落ち着いた城郭風の塔も見える。税関の塔を「クイーン」、県庁の塔を「キング」、横浜市開港記念会館の塔を「ジャック」と名付けられ横浜三塔物語としてPRされている。

そろそろ古稀を迎える老夫婦、健康維持の方法は何が良いのか。孫娘が成人式を迎えるまで心身とも元気でいたいと願い、時代の変遷を感じながら今後も散歩を楽しみたい。